

東京都立八王子桑志高等学校 令和5年度 年間指導計画（シラバス）

教科・分野：	産業・ビジネス情報	科目：	ビジネス法規	単位数：	2	指導学年：	3
使用教科書	実教出版 ビジネス法規	副教材	実教出版 ビジネス法規問題集				

年間指導目標：

- ・ビジネスに必要な法に関する基本的知識を習得させる。
- ・経済社会における法の意義や役割について理解させるとともに、経済事象を法律的に考え、判断する能力と態度を育成する。

評価規準	知識・技能（知）	思考力・判断力・表現力（思）	主体的に学習に取り組む態度・学びに向かう力（態）
	<ul style="list-style-type: none"> ・授業内の内容について理解できたか定期考査を実施して評価する。 ・授業内で小テストを実施し、単元ごとの理解度を測る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業の中で課題を指示し、調べ学習の成果を評価する。 ・調べた内容が薄いものかより鮮明に研究されたものかなどを評価する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業外で課題・宿題を出し、提出状況を評価する。 提出物の内容が自身で考察しながら書かれているかどうかを評価する。

評価方法				
a:定期考査	b:パフォーマンス (実技・実習・課題)	c:小テスト等	d:自己評価	e:授業態度

学期	考査	単元及び指導内容	観点	評価規準	評価方法					配当 時数
					a	b	c	d	e	
1 学期	中間 考査 (授 業 内)	第1章 法の概要 第2章 権利・義務と財産権 1. 権利・義務とその主体 2. 物と物権・債権 3. 知的財産権	(知)	<ul style="list-style-type: none"> ・実社会において、どんな権利と義務があるのかを理解しているか。 ・知的財産権の種類とその意味について理解している。 	○		○			12
			(思)	<ul style="list-style-type: none"> ・権利と義務について、事例を参照しながら自身で納得できているか。 ・物権について理解し実社会での取引にも関連していることを考察できているか。 		○				
			(態)	<ul style="list-style-type: none"> ・義務や権利の種類や意味を理解するために積極的に説明を聞き、内容をまとめているか。 ・知的財産権の意味を理解して、板書などを行っているか。 				○	○	
1 学期	期 末 考 査 (授 業 内)	第3章 財産権の変動 1. 契約 2. 物の売買 3. 物の貸借 4. 不法行為 5. 時効	(知)	<ul style="list-style-type: none"> ・契約について、法律的な効力と意味を理解しているか。 ・物の貸借について、法律を理解し不法行為や時効などの意味を理解しているか。 	○		○			12
			(思)	<ul style="list-style-type: none"> ・事例をもとに、実社会ではどのような契約があるかを自身で考えているか。 ・自身でどんな場面で契約が発生するかを想像し、その意味を考えているか。 		○				
			(態)	<ul style="list-style-type: none"> ・板書をしっかり取り、理解しようと努力しているか。 ・グループ学習で積極的に発言しようとしているか。 				○	○	

2 学 期	中 間 考 査 （ 授 業 内 ）	第4章 企業活動と法規 1. 企業活動の主体 2. 株式会社の特徴と期間 3. 資金調達と金融取引	(知) ・民法と商法の存在意義について、誰のためになんのためにあるのかを理解している。 ・企業の責任として、コンプライアンスの必要性和重要性について理解している。	○		○			16
		第5章 企業責任と法規 1. 法令遵守と説明責任 2. 労働者の保護 3. 消費者の保護 4. 情報の保護	(思) ・どんな場面で民法・商法が活かされているかを考察できている。 ・労働者の保護や消費者の保護について、自身で考えて判断できている。			○			
		(態) ・宿題や課題などにしっかりと取り組んでいる。 ・民法や商法で定められている制度について、考えて授業に取り組んでいる。					○	○	
2 学 期	期 末 考 査 （ 授 業 内 ）	第6章 1. 紛争の解決 2. 紛争の予防	(知) ・紛争について、裁判などのしくみや調停などのシステムを法的に理解している。 ・企業に関する税のしくみについて、理解している。	○		○			16
		第7章 税と法規 1. 税の種類と法人の納税義務	(思) ・裁判のしくみや裁判員制度など自身で考えて社会のしくみを理解しようとしている。 ・税金の納税義務について、税金の種類やそのシステムについて考えて理解しようとしている。			○			
		(態) ・裁判のしくみや流れを理解するのに自分なりに考えて取り組んでいる。 ・宿題・課題等にとしっかりと取り組んでいる。					○	○	
3 学 期		2. 法人税の申告と納付 3. 消費税の申告と納付	(知) ・法人に関わる税の仕組みと納付方法を理解している。 ・消費税の仕組みと申告・納税方法について理解している。	○		○			22
		(思) ・法人税の申告・納付方法を自身で考えて理解しようとしている・ ・消費税のしくみや申告・納付納付方法を具体的にイメージできている。			○				
		(態) ・課題や宿題に積極的に取り組んでいる。 ・授業内での取り組みに積極性がうかがえる。					○	○	
合計									78